

山岳観光の充実と推進を！



石鎚山系元気ウォーキング大会

問 当市の自慢といえば、うちぬき・石鎚山・祭りの3つがある。その内の西日本最高峰の石鎚山や瓶ヶ森・笹ヶ峰など多くの名山があるが、これらは観光面からいじゅうぶん活用されているとはいえない。現在、市長は合宿都市構想を推進しており、その一環として高地トレーニングを進めようとしている。長年いわれてきた山岳観光について、どのように推進しようと考えているのか。

答 平成17年度の山岳観光客は40万人から50万人と、平成15年以降徐々に増加傾向を示している。

現在、合宿都市構想において、高地環境に適した種目・トレーニング効果などの研究を東海大学教授の指導の下に進めている。

この5月には、石鎚山系で元気ウォーキング大会を実施し、500人を超える参加者で好評であった。今後も市民に呼びかけ、石鎚山系を自然だけでなく、高地でのスポーツ・健康づくりにも大いに活用していく。

無会派

どう取り組む？

市の情報管理

問 愛南町で合併の際に個人情報の流出が発生したが、当市の情報管理について、①情報漏えいの可能性とその防止策②委託業者・市職員の危機管理意識向上の取り組み③業者任せにしない庁内体制への取り組みを問う。

答 当市では、①合併時に委託業者と秘密保持契約を締結し、データ統合用の媒体の返却や使用データの消去等適切な処理を行うっており、情報漏えいの可能性はないと認識している。電算室への入室管理と監視カメラの設置、データ取り出しが不可能な住民記録システムの採用等の防止策をとっている。②委託業者には秘密保持契約遵守の再確認と、社員への指導徹底を求める文書通知を行い、具体的報告を得ている。また、市職員に対しては、毎年研修会を実施しているが、今後さらに適正な情報管理と危機意識向上に努めるよう周知徹底を図りたい。③電算業務システムの開発は専門性があるため業者委託しているが、市として適切な指導管理に努めたい。稼働後のシステムは、可能な限り職員による管理運営を行っている。

日本共産党西条市議団

引き下げできないか？国保税

問 病氣・貧困・失業等を主な理由とする国民健康保険税の滞納額が約6億円に及んでおり、国保会計の2006年度決算見込み額は約3億5千万円の黒字決算であることから、国保税を引き下げることとはできないのか。

答 国保税の税率は、被保険者の世帯・所得・資産等の状況に応じて決定し、応分の負担を求めている。低所得者層に対する配慮としては、所得と世帯構成の状況により、7割・5割・2割の各負担軽減措置を行い、平成19年度試算で総額約5億円の軽減措置を行っている。

平成19年度の税率決定においては、必要見込みの国保税額に激変緩和措置を講じることで試算した結果、一般会計から国保会計に3億2千万円を繰り入れることにより、税率を据え置くことができるかと判断した。

平成18年度の国保会計決算見込み額では、約3億5千万円の剰余金を見込んでいたが、平成20年度に後期高齢者医療制度・特定健

診・特定保健指導等の制度改正が予定されているため、後年度の国保財政の安定化を期するため、当面財政調整基金に積み立てたい。

どうする？産婦人科の確保

問 3月定例会で、いま市内で「出産できる産婦人科」は1か所であるため、早急に市内で安心して出産できる体制作りに取り組むとの答弁があったが、その後の経過を問う。

答 現状の産婦人科医の状況から見て、市内で安心して出産できる体制の確立が行政課題であると強く認識し、努力しているが、解決の糸口を見つけないままに至っていない。市・西条保健所・西条医師会の三者による地域医療体制にかかる意見交換の場を持つこととしているが、解決は容易でないと考えており、国策としての医師確保対策に期待するものである。

市民の出産場所の調査結果では、平成18年度は西条・新居浜の二次医療圏域で約77パーセントの割合が出産している。この傾向は今後も強くなると想定されるため、市内での出産体制の確保はもちろんのこと、二次医療圏域での体制確保にも努める必要があると考えており、今後関係機関との協議を進めていきたい。

日本共産党西条市議団

市内の水不足・漏水対策と

松山分水問題の方向性は

問 農業用水や小松の明穂地区の生活用水不足は、水の都西条と言えないほどであり、緊急の漏水対策が必要と思うが、その対策はどのようなものか。また、松山分水について、西条市・新居浜市・松山市による三市協議の方向性を問う。

答 小松地区は、既に企業と了解が取れており、いつでも給水可能な状況になっている。小松地区の水源は、旧小松行政区の中において確保したいと考えている。

三市協議については、まだテーマの骨子も決まっていない。市民の水に対する関心が高まり、どんな意見が出てくるものと感じている。次回の三市協議は7月9日に開催する予定である。



松山分水に関する意見交換会(三市協議)